

「THE世界大学ランキング 日本版2019」発表 国際的な教育環境を評価する分野別ランキング「国際性」において 大阪経済法科大学、大阪府内の大学 3位にランクイン！

さらに教育への期待実現度を評価する「教育充実度」分野において同7位に初ランクイン



大阪経済法科大学（大阪府八尾市、学長：田畑 理一）は、英国の教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」（以下、THE）を運営するTES Global社が発表した「THE世界大学ランキング 日本版2019」において、「国際性」分野で国公立を含めた大阪府内の大学として3位、全国では21位となり、2017年に初めてランキング入りして以降、3年連続で3位以内にランクインいたしました。また、「教育充実度」分野において、大阪府内の大学として7位、全国では136位に初めてランクインいたしました。

■「国際性」分野において大阪府内の大学として3位獲得

「THE世界大学ランキング 日本版」の「国際性」分野は、外国人学生比率／外国人教員比率／日本人学生の留学比率／外国語で行われている講座の比率の計4項目により国際的な教育環境になっているかを評価しています。

本学は2016年より新たに国際学部を設立し、同ランキング2017年版では「国際性」分野で国公立を含めた大阪府内の大学として1位に、全国では2位にランキング入りいたしました。以降、3年連続で3位以内にランクインし続けています。

世界25か国・地域、71大学・研究機関の協定校を国際ネットワークとして持ち、国際学部では1年次から全員が海外体験を行うことで「使える英語」を身につけるとともに、豊富な専門科目を通じて「世界を知る力」を育む教育を充実させております。また、トロント大学、ロンドン大学SOAS、北京大学、ハワイ大学、オークランド大学、チュラロンコン大学を始めとした世界の名門校との協定を活用することで、豊かな環境、多彩なラインナップから自分にあった国際教育プログラムを選択することが可能となっています。

その他、国際学部以外の学部生への留学のサポートも充実しており、大学全体を通したグローバル人材育成を目指しています。

実際に留学を体験した学生からは「学びたいことや夢がはっきり見えてきた」「語学留学だけでなく国際協力に関する体験プログラムが充実しているのが魅力的だった」といった声が挙がっています。

■「教育充実度」分野において大阪府内の大学として7位に初ランクイン

「THE世界大学ランキング 日本版」の「教育充実度」分野は、日本の大学に在籍する学生と、高等学校の進路担当教員を対象に実施した調査結果より、教員・学生の交流、協働学習の機会／授業・指導の充実度／大学の推奨度／グローバル人材育成の重視／入学後の能力伸長の5項目より、どれだけ教育への期待が実現されているかを評価しています。

学生に対しては、各大学の教育改革を学生が認識できているかどうかを調査し、高等学校の教員に対しては、「大学に関する印象調査」を実施しています。

本学は、設立時から、教育を重視する学生本位の大学であることを常に目指し、この基本姿勢を堅持して参りました。その結果として、今回初めてランキング入りしたと考えております。

本学では今後も、国際性、学生本位の教育を重視した大学として教育・研究事業に尽力してまいります。

■大阪経済法科大学

「経済と法律、二つの学問の修得による人格の形成」「実学の精神を持った人材の育成」「人権の伸長と国際平和への貢献」を理念とし、経済学部と法学部の2学部で1971年に創立。現在は経営学部、国際学部、大学院を加え、さらに2020年には国際学部の収容定員増を予定（認可申請中）しており、グローバル人材の育成にも注力している。

大学HP : <http://www.keiho-u.ac.jp/>